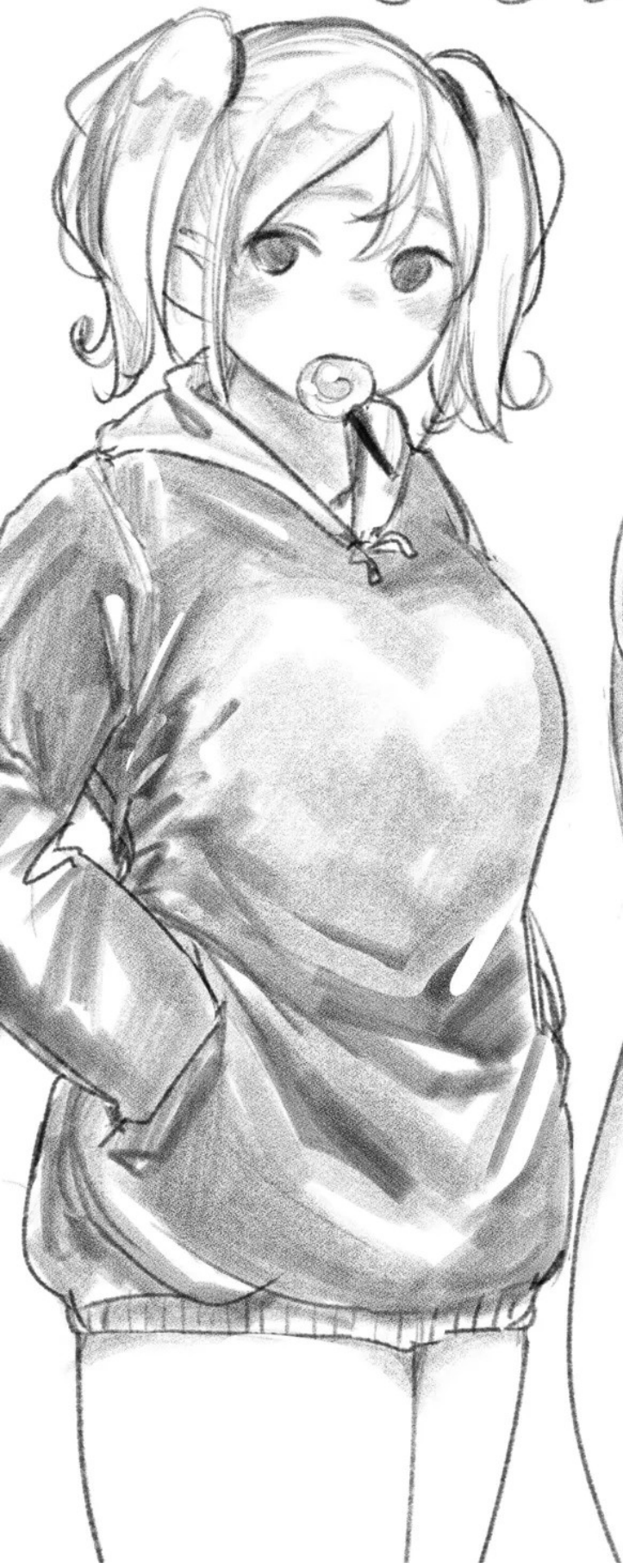


巨木母娘  
マカ





なっ……!

なんですか  
あなたたち……

どういいうつもり  
ですか……

私みたいな  
ただのおばさんに  
銃をたくさん  
向けるなんて……



くくく…  
何がただの  
おばさんだ

!

お前のような  
クソデカイ  
おばさんが  
いるか

なあ？

元ウルトラ  
ヒロイン…

…

単刀直入に  
言おう  
メグミさん

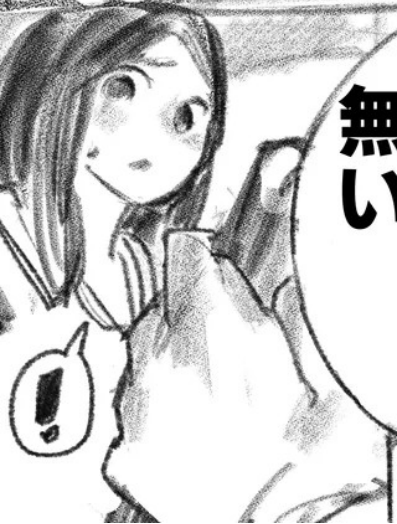
我が国……  
Z国への軍事  
協力を要請する

ウルトラヒロインの力でA国の  
ダニどもを駆逐して欲しい

文字通り虫けらの  
ようにな

そ……  
そんな事……

アンタに  
拒否権は  
無い



み……

ミクちゃん!?

首都の学校に通ってるとはなかなか頭が良い娘さんじゃないか

しかしなんでアンタだけ離れて暮らしてるんだ？  
まあその図体じゃ都会じゃ暮らせんか

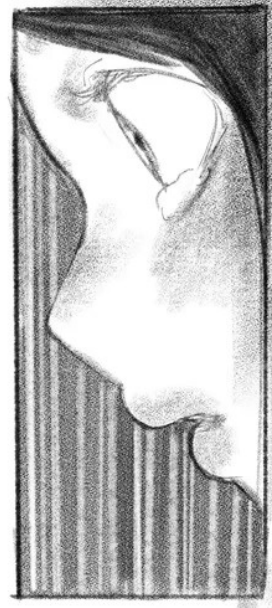
あ……  
あなたたち……

おっと！  
暴れるなよ！

夫と娘の命が惜しければな……！！

ママあ……

ママ……



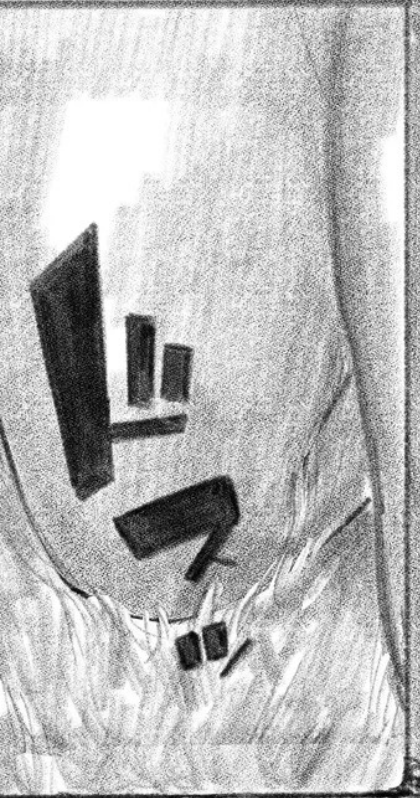
死んじやった...

パパが...

パパが...

えく

えく



...おいどういふマことだ？  
人質を殺してどうする！！

も申し訳  
ありません

銃で応戦して  
きたもので...



そんな...

そんな...

ごめんなさい……

私なんかと  
結ばれたせいで……

マコトさん……

**十数年前**

はあ……

はあ……

ふう……  
やっつけた!!

今日も街を  
守ったぞ  
メグミちゃんえらい♡





でつつつ  
けえ〜っ!

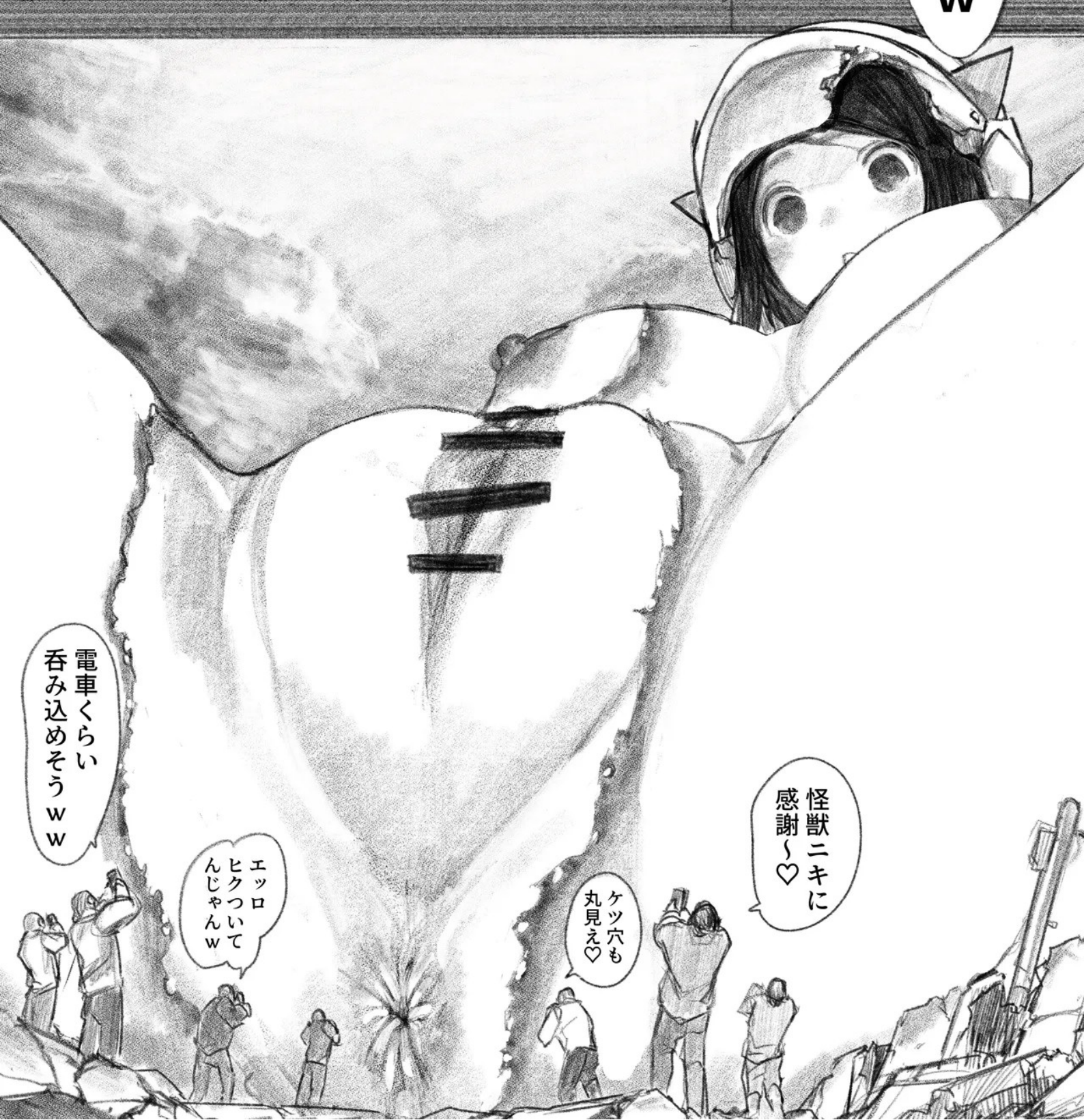
ウルトラメグちゃん  
の生おまんこ  
ヤバ〜っ!



うわっ

えっぐw

!?



電車くらい  
呑み込めそうw

エッロ  
ヒクついて  
んじゃんw

ケツ穴も  
丸見え♡

怪獣ニキに  
感謝♡

あ：：  
あなたがた！

ななな何してる  
んですか！

やっべw  
逃げろ！

恥ずかしがる  
顔もカワイー♡

え

!?

な...

何だ!?

おい!?  
ふざけんな  
デカ女!!

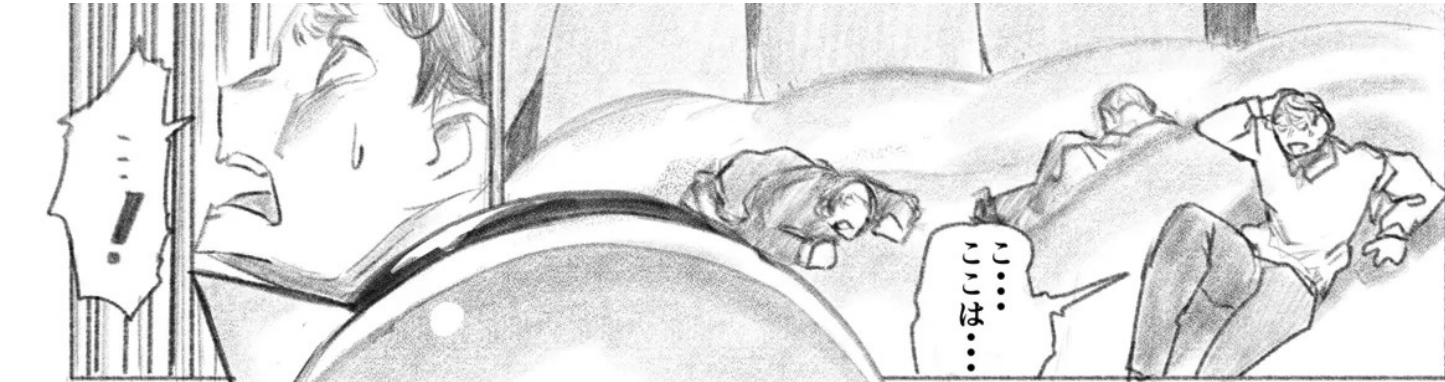
俺たち  
一般人だぞ!?

こ...これ  
メグちゃんの  
「ウルトラ  
パワー」!?

ギ

ギ

ギ



ここは...

消してください!!  
えっちな写真...

ああのっ  
お願いします!



じゃないと私

おこっちやい  
ますからね...?

ふふふはるな!



お前どういうつもりだ!? 俺たち一般人を拘束しやがって!

そのうえ脅すなんて許せねえぞ!

そうだそうだ! それでもウルトラヒーロインかよ?



おいやべえよ! 本気で怒らせたら...

仮にも正義の味方が一般人に手を出せるかよ

あんなお宝映像を消せだなんて冗談じゃないぜ

そそれは謝りますごめんなさい!

だからお願いですデータは全部消してください!!



嫌だね!

慰謝料を請求されなだけでありがたく思え!

そっか

あ?



じゃ

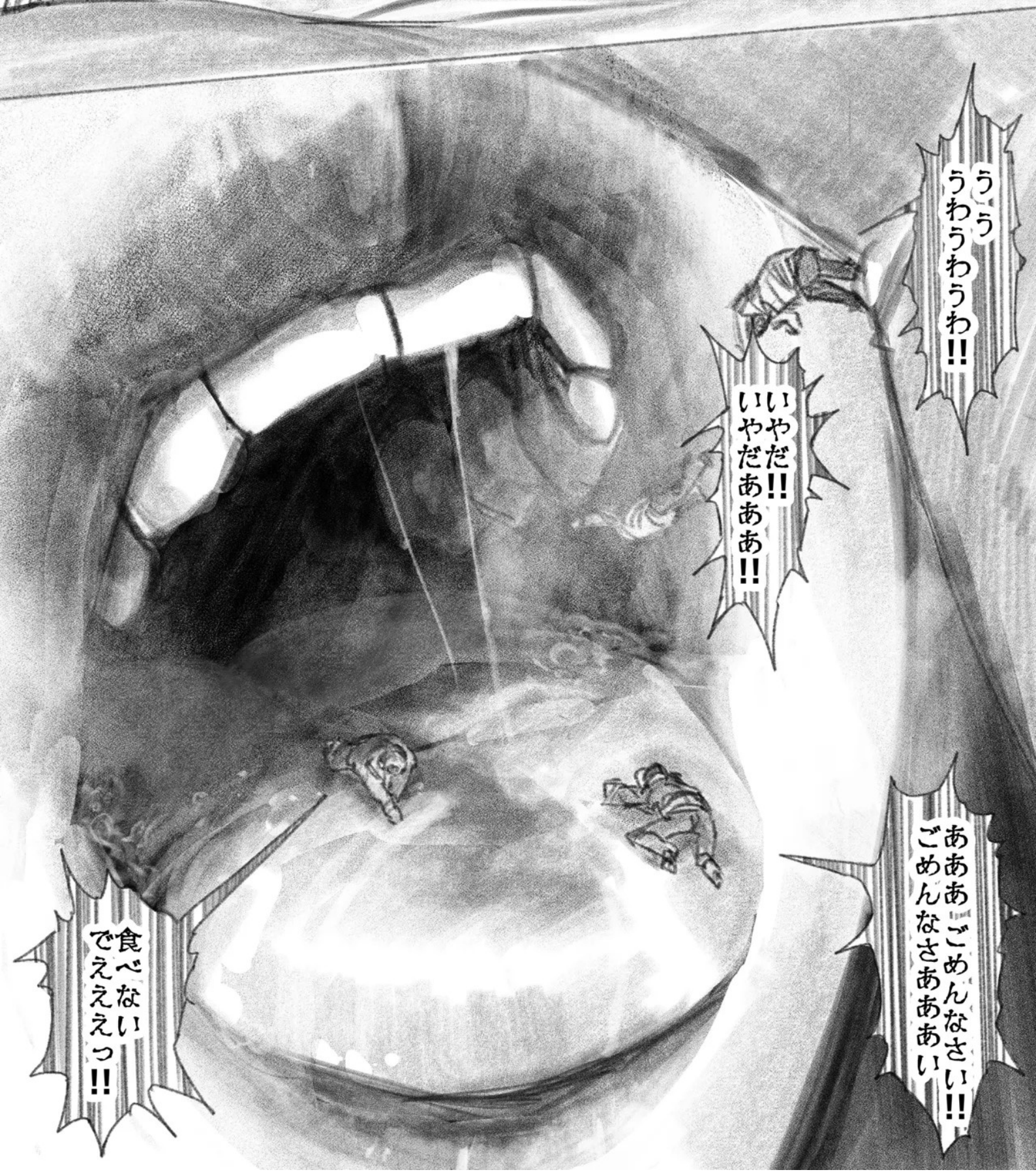
なしよ  
うが  
ない  
ねー



ま...ま  
まさか...!

ん  
ん

な...  
何を...



うわうわ  
うわうわ!!

いやだ!!  
いやだああ!!

あああごめんなさい!!  
ごめんなさいあああ

食べない  
でえええ!!







ほほほ…骨ッ!!

そ…  
そんなバカな!!

ただっ  
ただっ  
今…!!

ううわあッ!!



あ熱いッ!!  
足がッ!!

よヨダレで  
溶けて…

怪獣だっ!!  
怪獣だっ!!  
コイツもっ…

怪獣だった  
んだああ!!

かっ…



もー  
逃げないでー

食べにく  
いよおー

ヒイッ

イヤだイヤだあああッ



…ヒッ!!

このこの  
…化け物ツ  
…!!



…勃起して…!!

人を喰って…

虐殺して!!

…感じて…  
…だ…!!

…狂って…!!

ザザミ

メグミ  
隊員

作戦は終了  
したのか?

…たつ…  
隊長!!

え…  
え…とお…

…それが  
…ですね…





いや、キミは早く  
巨大化を解除しろ

また過剰に  
巨大化して  
被害を増やした  
ようだな

これは  
命令だ

生存者の救助は  
我々の役目だ

...

...わかり  
ました

...でも、まだ  
怪獣さんが  
生きてるかも  
知れませんが

熱光線を吐くので  
とつても危険です

...?  
何を言っ  
てる?

ソイツは完全こ  
ペシヤンコ

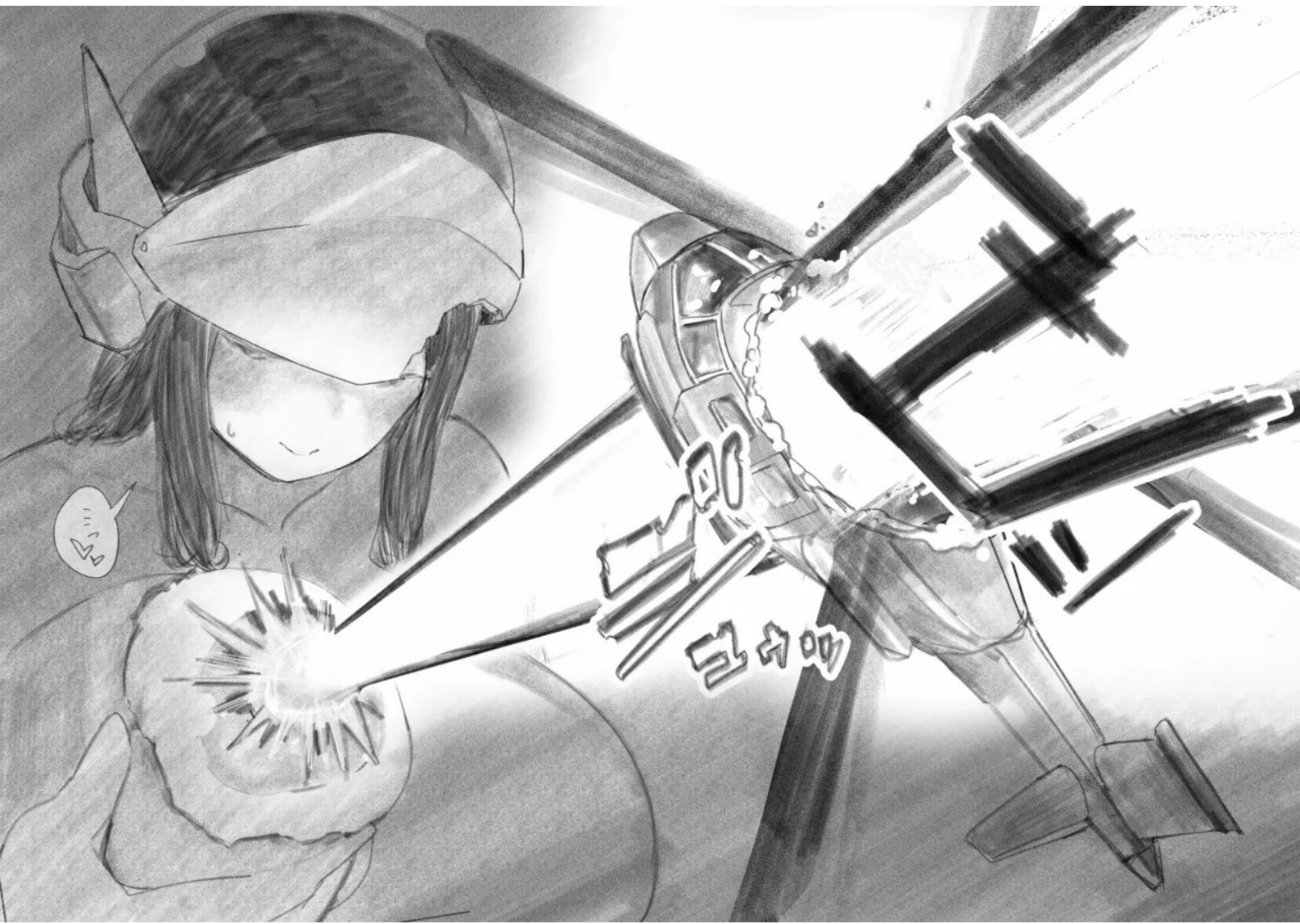
た隊長...

えっと...

ごめんなさい

たぽっ

!!





あぁっ!!



うう...

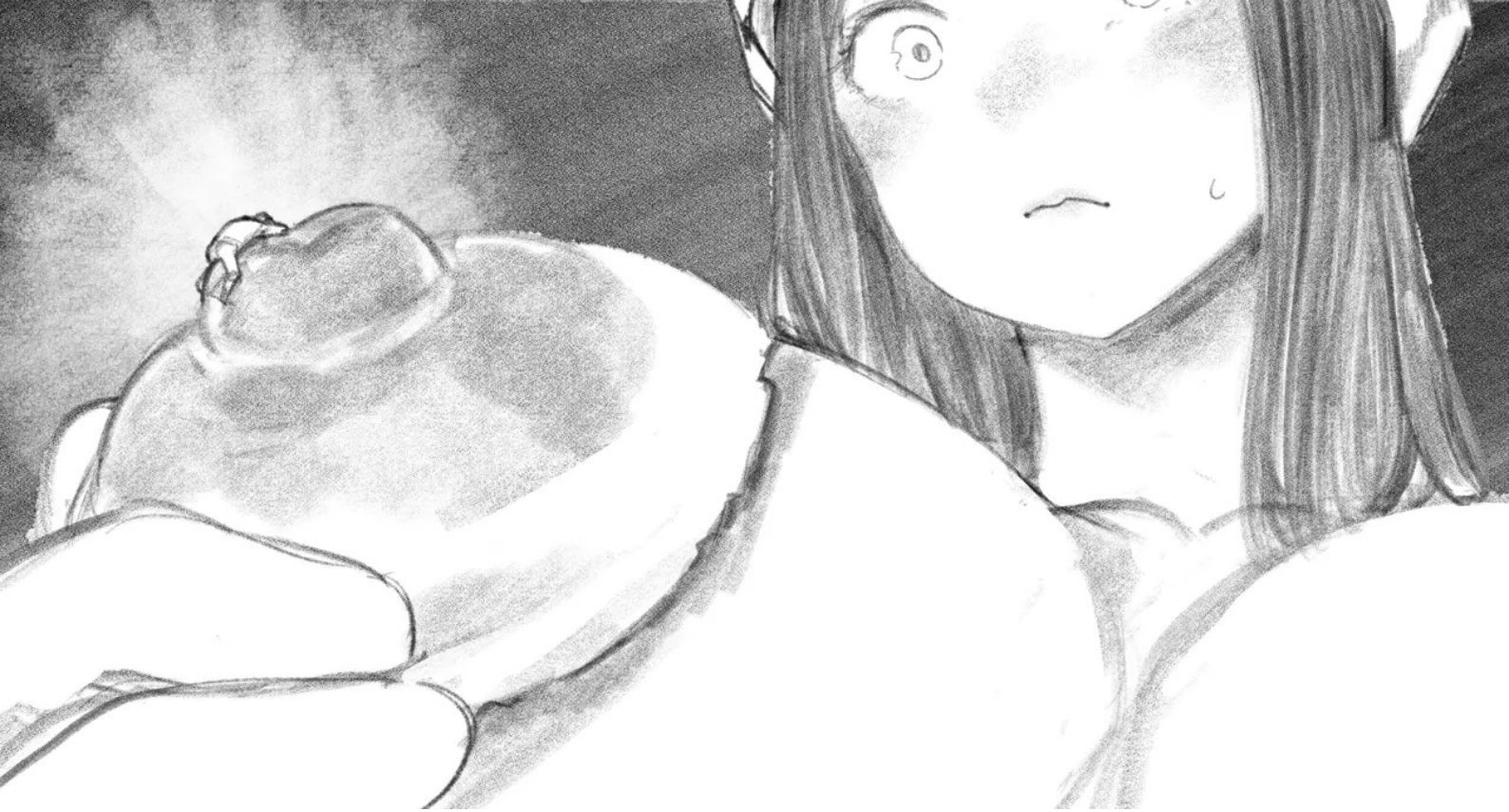


な  
あんなの  
見たことないぞ...!!



防衛軍  
を...!!

う...  
うさだろ...



め…メグミくん…!!

どどど…!!

!!

や…やめろ!!

もうセクハラ  
はやめる!!

パワハラも!!

だから許し

キヤツ

わ…悪かった!!  
俺に怒って  
るんだよな!?

いえ…気にしないで  
ください隊長…

実は私も悪い子なんです  
だっていつか  
隊長を…

こうして使っちゃう  
つもりでしたから…♡

ウルトラヒーローには  
必要なです  
ほんのささやかな…

ストレス解消…♡

E!!!

わッ



そうしないと  
私……

ひびく

人間滅ぼし  
ちゃうかも……



はあ



そうしないと  
私……

ひびく

人間滅ぼし  
ちゃうかも……



はあ



み…みみ…  
みんなに…

伝えなきや…!!

う…ウルトラメグミ  
こそが…

あ…あ…  
本当の…!!

!!最悪の…

人間を玩具にする  
化物だ!!怪物だ  
怪獣なんだああ!!

み…みんな  
だまされるな  
この巨大女はっ!!

ウルトラヒロイン  
なんかじゃない!!

ぎゃっ?!

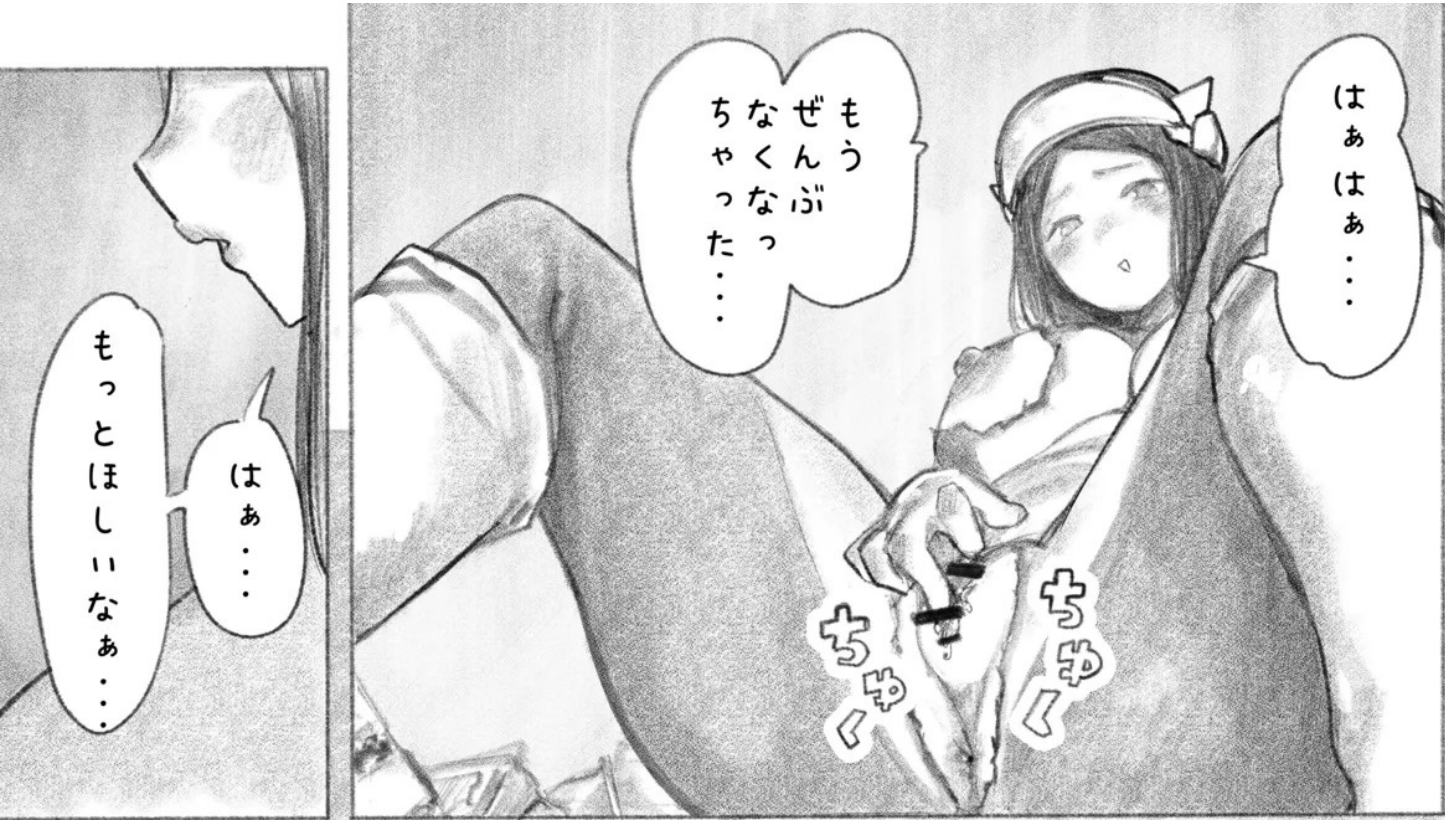
悪口は  
だめだよあ?  
アンチは…

んっ…♡

♡ちゅっ♡

おしおきっ♡

♡しゅっ♡



はあはあ……

もう  
ぜんぶ  
なくなっ  
ちゃった……

ちゅく  
ちゅく

はあ……  
もっとほしいなあ……



だ……

ぼ……  
僕を使って  
くれっ!!

誰!?

!?

ドキッ

〇〇  
〇〇  
〇〇



メグちゃんが  
残酷エロ巨大娘  
だったなんて!!

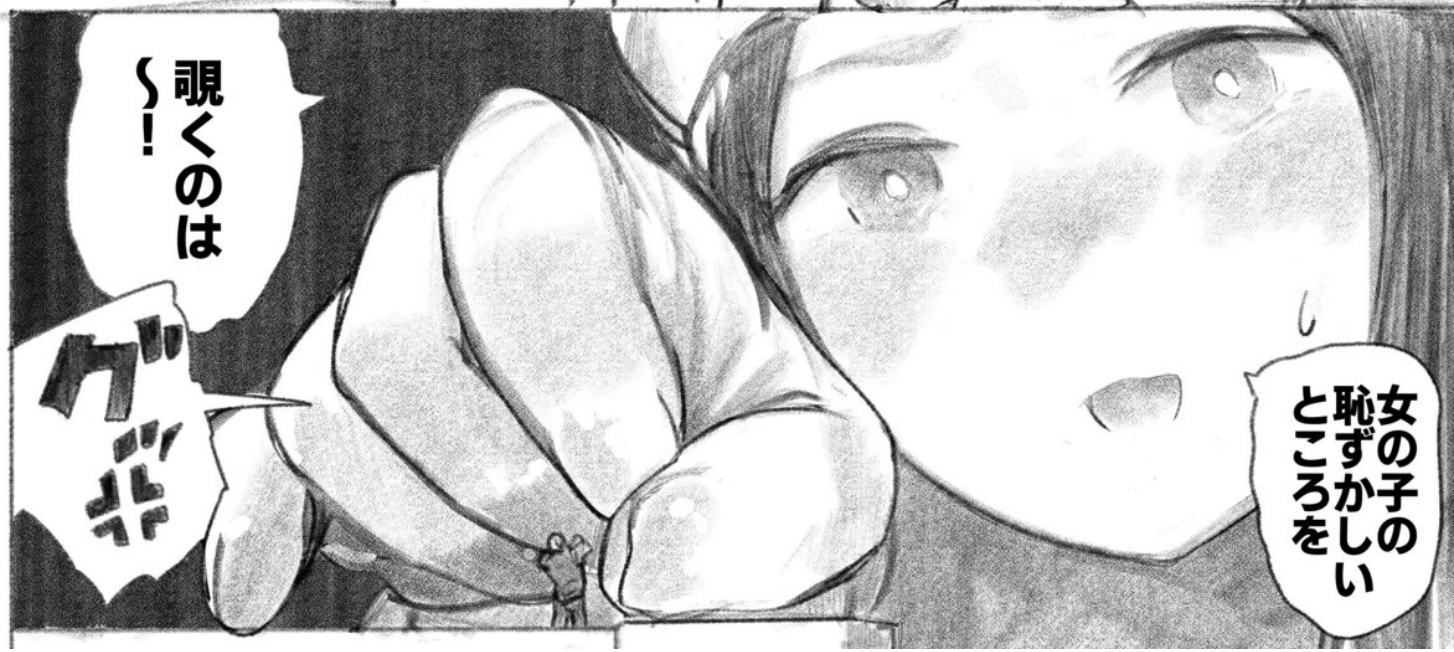
や...  
ヤバすぎる!!  
最高だ!!



...  
?

...

...だめ  
ですよ



覗くのは  
〜!

ガッ  
ホ

女の子の  
恥ずかしい  
ところを



いいやあ……  
実は自殺しようとしてたところ……

メグちゃんに殺されるならほんとに嬉しいなって……



えっじ……  
自殺……

あ

でも……

どうせなら  
エッチに使って  
ほしい!!

食べられるのも  
いいなあ!!

ほらメグちゃん

ぼくでストレス  
解消してくれ!

絶対イヤ  
です!!

そんなの  
ストレス解消に  
ならないです!!

悪いコトが  
の気持ちいい

ええ〜!?

でも一理  
ある!!

それなら  
いつぞ...

くく...  
くく...

付き合っ  
てください!!

ぼくと

はあっ!?

わ…私と  
付き合いたい??

そう!!

何を言ってる  
んですか?

見てたんでしょ  
私のしたこと…

もちろん!!

清纯で正義の  
ウルトラヒロイン  
ぶっついていて

裏では人々を  
虫けらのように  
虐殺している  
残酷巨大娘…

うっ…

理想の  
タイプだ…

ほ…ほんとに  
頭がおかしいん  
ですわね!?

タイプって…  
うそでしょ…  
こんな…  
最悪の  
怪獣女を…

ほら早く

どっちか決めてくれ

だ…だまされませんよ!!  
うまいこと言って…  
結局殺されたくない  
だけでしよう!!

残念でした!!  
私はそんなちよろい  
女じゃないんです!!

…確かに殺されるより  
付き合ってくれるほうが  
嬉しかったけど

ただ最後にもう一つ  
質問させてくれる?

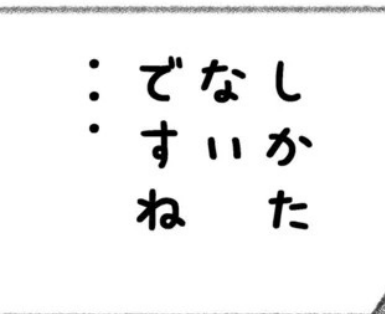
どうして  
素直に  
ならないの?

自分をさらけ  
出しちゃえばいいのにさ

心ゆくまで  
怪獣を楽しめば  
いいじゃないか

欲望の赴くままに  
人々を虐殺して  
全てを破壊する

僕はそんな君が  
大好きだよ





あああ  
ああわあ

カ

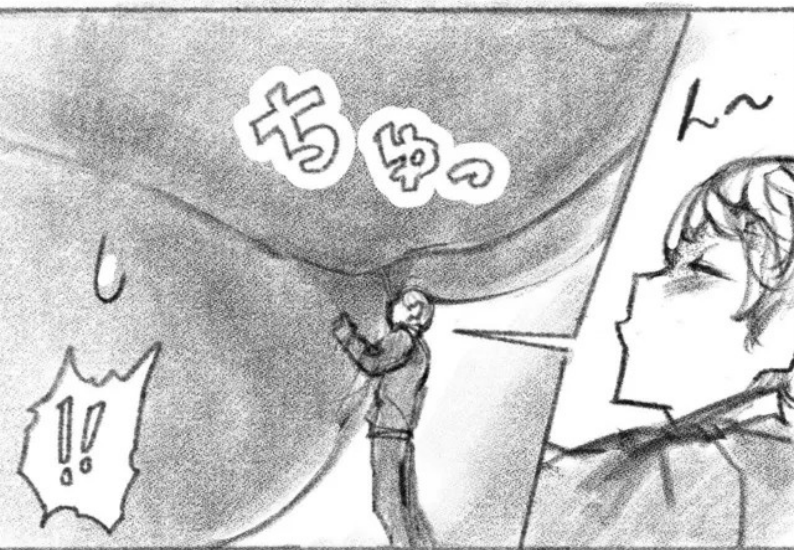
バキ

あ  
あ  
あ



瞬間  
私が飽きた

終わりですよ♡



まさに  
巨大娘!!

お・・恐ろし  
可愛い!!



そのときから  
私は

ちよっ・・・  
何してるんですか!?

え!?  
そ・・・そいつ  
ノリかと思ってる!!

ただの女に  
なった・・・

彼——マコトさんと  
出会って1年後、  
私たちは結婚した

防衛軍も辞め  
毎日毎日  
愛し合った



いろいろなサイズの  
プレイを楽しんだ

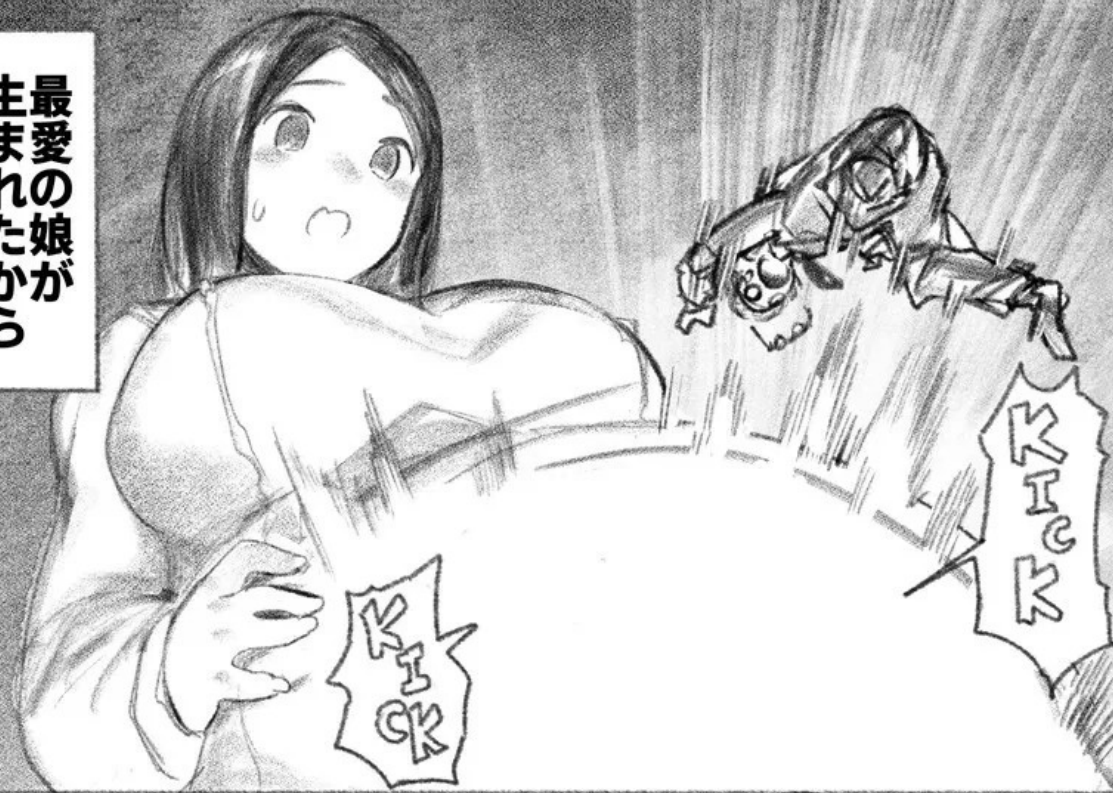
ストレス解消の虐殺も  
必要なくなった

マコトさんは少し  
残念がっていたけど...



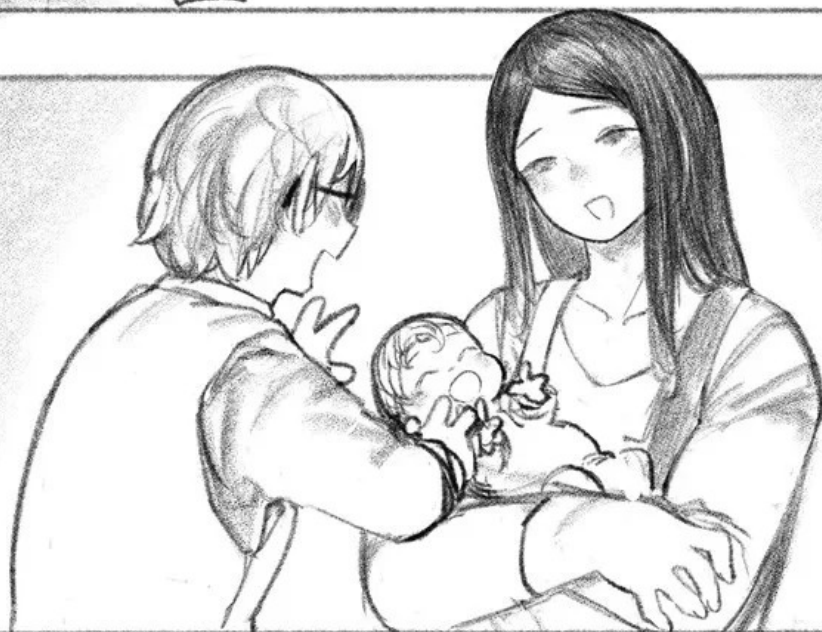
——いやそれは少し嘘  
暴れたい衝動はあったけど  
我慢していた

最愛の娘が  
生まれたから



生物的に違いすぎる  
私達にとつてはまさに  
奇跡の子だった

自分の欲望のためには  
娘の幸せを壊すことは  
できない



ありふれてるけど

本当に幸せな毎日……

——だった

